

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゴービー		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 20日		～ 2024年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 3日		～ 2024年 10月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	常勤7名	(回答者数) 常勤7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入浴支援を行っている。 浴室が2か所ある。	○個々に合わせた入浴方法の実施。(入浴手順表の作成) ○入浴時に全身チェックをして身体の状態を観察している。	入浴希望者が増えているため、どのような順で入浴するか等対応方法をその都度、話し合っている
2	多職種(看護師・理学療法士・作業療法士・保育士)の常勤スタッフが連携を取りながら利用者様のケア、支援を行っている。	○支援や活動の中で一人ひとりの生活リズムを考え、状況に応じた適切な支援方法を相談し、取り組めるようにしている。 ○事業所内研修の開催。	○会議や毎日のミーティングの中で職種の壁を越えた意見交換や情報共有を続けていく。 ○人材育成のため、大学や専門学校等への講義の実施や研修の受講。
3	事業所内が明るく開放的である。 スペースが広いため歩行訓練をはじめとするリハビリが行いやすい。	○整理整頓や換気、消毒を徹底し、利用者様が気持ちよく安心して過ごせるような環境を作っている。 ○時間に余裕がある時はいつもとは違うリハビリを行うなど利用者様の身体機能をよくするための取り組みを実施している。	○感染症対策として今後も換気、消毒を徹底し、感染が蔓延しないよう努める。 ○安全が確保される範囲内でリハビリスタッフ以外のスタッフも利用者の身体機能を向上させるための取り組みを実施したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流や気軽に散歩で行ける公園が少ない。	○近所へのお出かけは事業所前の道路の交通量が多く、歩道が少ないため、スタッフの人数確保が必要である。	○地域のボランティアさんを招いたり、実習生を受け入れたり外部の方と交流できる機会を作る。 ○系列のデイサービスの利用者様や他事業所の利用者様との交流できる機会を作る。
2	災害時などに周辺施設と協力しあえるような体制がない。	○周辺施設とのつながりや交流ができる機会がない。	○周辺の施設や住民とかかわり、本事業所のことや利用者様のことを知ってもらえるようなイベント等を企画する。
3	保護者交流会や保護者が参加する行事の開催	○活動参観を実施するも感染症(コロナ等)や台風の影響で中止となった。	○開催時期や時間を考え、予備日も作る。 ○年間スケジュールを作成し前もって知らせ、積極的に参加できるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスゴービー

公表日 2024年10月28日

利用児童数 2024年 10月 1日現在 1名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					今後もさまざまな研修に参加し、ご利用者様の特性に合わせた支援ができるよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。					100%	地域の子どもたちと交流する機会がほとんどないのが現状です。系列のゴービープラスの利用者様との交流や外部から来ていただく地域のボランティアさんや実習生の受け入れは実施しています。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					100%	防災センター見学をはじめご家族様参加のイベントは行なっていますが今後研修会等も開催していきたいと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					医療的ケア等、変更があればその都度ご家族様と話し合いケア内容を確認しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				100%		コロナ禍以降、ご家族様同士の交流は避けていましたが今後は積極的に交流会も企画していきたいと思っています。同時にきょうだい向けイベントも実施できればと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				いつも可愛い写真を送ってくださいありがとうございます。	ご利用時の出来事は連絡ノートをはじめLINEで写真や動画を送って説明しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					ご家族様からの申し送りのない傷やアザなどは発見次第、ご連絡を入れ確認させていただきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				迎えに行くとき楽しそうに遊んでいるので嬉しいです。	これからいろいろな活動をメインにのびのびと過ごせるような環境を作っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				いつも保育園のように接してくれてありがとうございます。	たくさんの支援者やおともだちとかかわりを持って楽しく過ごします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスゴービー		公表日		2024年 10月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	活動をするメインフロアにはフロアマットを敷いています。活動に応じてフロアマットを移動させることができます。	利用者様のスペースの配置の工夫	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		配置基準に沿って職員を配置しています。	土曜日や長期休み等、非常勤職員の確保	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		全フロアバリアフリー化されており、バギー、車椅子での乗り入れが可能となっています。	フロアマット上の整理整頓	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		整理整頓を心がけています。ベンチクッションを使用して間仕切りを作ることも出来ます。	利用者様に合わせたスペース確保	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		周りが気になるご利用者様への配慮として、集中してのリハビリなどには脱衣スペースや静養室を活用しています。	利用者様の状況に合わせての使用	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		毎日、ミーティングを行って業務の確認や振り返りを行っています。	発言しやすい環境を作る	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者様の意向は職員間で情報を共有し、各々のニーズ等に応じた支援ができています。話し合い、保護者様にフィードバックしています。	全職員が評価し話し合う場を設ける	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎日ミーティングを行っており、発言しやすい環境が整っています。	気付きや意見があれば発言する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%	外部評価は行なっていないがボランティアさんや学生さんの受け入れを行っています。	ボランティアや実習生の受け入れ	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		毎月の会議でのプチ勉強会や個々での研修参加を積極的に行っています。	職員の資質向上	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%	ホームページ内に活動の内容を記載し、順次更新しています。	支援プログラム内容の充実、公表	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		各専門職の目線からアセスメントし、個別支援計画書の作成をしています。	適切なアセスメント	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		支援に関わる職員の意見を聞くため計画書作成前にケース会議を行っています。	各職種が評価し話し合う場を設ける	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		保護者様の同意を得た支援計画書を共有しています。	目標に向けた支援の実施	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	71%	29%	利用者様の本来の姿を観察・分析します。	日常場面の行動観察の記録や聞き取りを行う	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		必要な項目を取り入れながら支援計画書を作成しています。	支援内容の充実	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		保育士中心に活動内容を考えています。	立案を立てた上での話し合い	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		保育士中心にその都度みんなで意見を出し合っています。	月間スケジュールを立てる	
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		平日利用時、休日利用時に合わせた活動を行っています。	利用者様に合ったカリキュラムの作成	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		支援開始前には必ずミーティングを行い、その日の流れや活動内容を確認し、役割分担を行っています。	わからないことがあれば声を掛け合う	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	毎回できていないですがイベントやいつもと違う活動内容の場合は振り返りを行い、気づきや反省点を話し合っています。	振り返り、気づきや反省を職員間で共有	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		日々の支援に関しては業務日誌や活動日誌に記録を残しています。	記録の徹底	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		児童発達管理責任者を中心に会議を設け、各専門スタッフの意見や情報を交換し計画書の見直しを行っています。	各職種が評価し話し合う場を設ける	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	児童発達管理責任者が参加しています。会議の内容によっては看護師が参加する場合があります。	相談支援事業所との連携を深める	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	嘱託医の診察は1回/月実施しています。必要に応じて相談支援員さん経由でいろいろな情報交換や共有をしています。	各機関と連携を図る	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	不明点があればその都度相談員さんを通して問い合わせをしています。	各機関と必要な情報共有を行う	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	都度、相談支援員さんを通して情報共有をしています。	小学校と必要な情報共有を行う	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	58%	42%	電話での対応や研修に参加してもらい、いろいろな情報やアドバイスをいただいています。	社会福祉事業団の出席講座の利用の検討
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	42%	58%	特に交流はありません。	他事業所との交流会の実施
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時等の会話や電話、LINE、連絡帳などで把握するよう努めています。	不明点や不審点があればその都度電話やLINEで確認
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	29%	研修は実施できていませんが、情報提供はSNS等でさせていただいています。	保護者様に向けた研修や交流会の実施予定	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		利用者負担額については請求時に明細を添付しています。運営規程については契約時に「重要事項説明書」「利用契約書」と同時に説明しています。また、変更時には別紙にて説明させていただいています。	支援プログラム内容の充実と公表	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		保護者様の意向をご利用契約時に確認させていただいています。	移行期に再確認する

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		支援内容を説明し、計画の同意をいただいています。	わかりやすく丁寧な説明
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		随時対応させていただいています。保護者様からの相談内容によっては面談も行っています。必要場合は職員間で共有するようにしています。また、他機関への相談援助をお願いする場合は保護者様へ了承を得ています。	全職員が対応できるスキルを身につける
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	42%	58%	コロナ禍だったためご家族様みんなが集まる催しは開催できませんでしたが保護者様やきょうだい児が参加し、交流できる活動参観は夏休みに期間を設けて企画しました。しかし、台風接近のため中止となりました。	活動参観の期間や内容の見直し ご家族様同士にの交流会の開催
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		保護者様からの意見については、常勤、非常勤にかかわらず全スタッフに周知し、話しあう機会をもち、保護者様へはその経緯も含めフィードバックしています。	全職員が対応できるスキルを身につける
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		デイでの活動内容やお知らせなど写真を中心にわかりやすく構成した『ゴビー通信』を年6回発行しています。その他、HPやInstagramでは個人情報に配慮し、リアルタイムの活動情報や季節ごとの活動や行事などの様子を発信しています。	今後は行事予定等もわかりやすく記載する予定です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		契約時に個人情報使用同意書をいただいています。また、研修や勉強会等で使用する写真等の掲載については具体的な同意書をいただいています。個人情報の使用に際して、使用されている方の安全を留意するとともに、適切に取り扱います。	SNS発信時には細心の注意をはかる
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		些細な反応も見逃さずご利用者の意思を受け取るため、わかりやすい声かけやかかわりを心がけます。	気持ちを理解し見守り続ける
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	42%	58%	事業所の行事に地域の方を招待するということとは行なっていません。	隣の老人施設や近隣の事業所との交流会の検討
非 常 時 等 の 対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	各ご家庭に「各種対応マニュアル」と「インフルエンザ・コロナウィルス対策」の冊子を配布し、情報が変更される都度お手紙を配布しています。事業所内には各マニュアルが保管されいつでも閲覧できるようになっています。災害避難訓練は（火災・地震・不審者対応）のいずれかを毎月実施しています。実施内容等は別紙に記入し記録として残していません。	通信やSNSで訓練内容の発信
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		非常災害発生に備え、飲料水や非常食、簡易トイレを備蓄しています。また、各利用者様には服薬や栄養等必要な物をかばんに入れてもらっています。	イレギュラーな避難、救出訓練の実施
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		看護師を中心に利用者様の状況を随時確認しています。変更点があれば、スタッフ全員に周知しています。	誰が見てもわかりやすい個別カルテの作成
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		昼食、おやつ提供は行なっておりません。各ご家庭より持参されています。	不明な際は保護者様へ確認
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		災害が起こった時を想定して「災害用伝言ダイヤル」の利用の仕方をお知らせし、体験をしていただきました。	災害を想定した訓練を行う

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		災害対策についてお手紙を配布し、各自非常食や内服薬を1回分ご用意いただけるようお願いをしています。	災害時対策の手紙の配布
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハットが起きた時点でスタッフに周知し気づきや反省点を話し合っ報告書に記入しています。再度、月1回のスタッフ会議でヒヤリハットの経過を報告して再発を防ぐためにも対策を話し合っています。	放置せず報告して情報共有する 早期に対策を講じる
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止委員会を設置し、定例会の実施や研修への参加、報告会を行っています。	研修内容を事業所内で報告する
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		ご家庭からのバギー、車椅子、入浴時のシャワーチェア、送迎車乗車時、昼食時・活動時の座位保持椅子への乗車時の安全ベルトに関しては個々に必要性について検討。必要ありと判断した場合はご家族様に説明し同意書をいただいています。個別支援計画書にも記載しています。なお、安全ベルトを使用した場合は必ず個々の連絡帳に記入してご家族様にお知らせしています。	変更時はご家族様へ説明し了解を得る